

事務事業名	図書情報インターネット公開事業	整理番号	35104-010
所管	図書館 学習情報スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成20年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準
基本計画における位置付け	基本政策	3-5 情報化社会の構築	関連政策
	政策	3-5-1 情報通信基盤・システムの活用	

事務事業の内容

目的 (何のために)	インターネット社会に対応した図書館サービスを市民等に提供する。
対象 (誰・何を)	市民及び周辺自治体住民
手段 (どのようなやり方で)	図書館でホームページを開設し様々な情報発信するとともに、所蔵する図書・新聞・雑誌等の情報をインターネット上に公開する。また、「静岡県横断検索システム」に参加する。インターネットサーバーの管理はハウジング委託とする。
成果 (どのような状態にしたいか)	市民のみならず多くの人々が自宅やオフィスなどに居ながらにして、図書館のイベント情報や蔵書を検索でき、図書資料の利用が増加する。また、「静岡県横断検索システム」に参加することにより他市町立図書館との図書資料の相互貸借が活発化する。
事務事業の背景・住民の意向	市民意識調査結果では、インターネットで蔵書情報を公開すべきだと思う人は54.1%になっている。平成18年策定の御殿場市子ども読書推進計画に、インターネットの利用による読書推進が盛り込まれた。
見直し改善の経過	図書館では今までにコンピュータシステムの更新を4回実施した。現行システムは平成16年10月に導入したもので平成21年度の5回目の更新時に導入する事になった。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	
平成18年度		
平成19年度		
平成20年度	図書情報のインターネット公開事業を実施するにあたり、平成21年度に更新予定の、図書館システムを導入する中で、一緒に検討していくことになり、研究事務に終了した。	

評価指標

--	--	--

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	
観点別評価	必要性	インターネットにより図書情報を公開することで、今まで利用のなかった市民等へ情報提供がなされ、図書館利用の拡大が図られる。また、現在の利用者の更なる利便性の向上が見込まれる。よって、事業の継続が望まれる。	今後の方向性
	有効性		
	効率性		
総合評価	A		継続

改革プラン

平成21年度からの対応	実際に導入して、図書館ホームページの作成まで実施する。
平成22年度以降の対応	図書館ホームページの更新に努めるとともに、予約事務の充実を図っていく。
改革により予想される成果	リクエスト件数の増加が見込まれ、貸出冊数の増加につながる。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り現行システムの使用を継続する。 ・web公開システムは、現行システムに付加する形等で単独で導入するか、あるいは、可能であれば、現行システムの更新時に、蔵書検索や予約システムなどと併せての導入を検討すること。
仕分け理由	
現行システムの継続と効率的な新システム導入を図ることで、経費の縮減を図る。	